

## 市民活動団体ヒアリング意見一覧(H26.12.18~H26.12.25)

日時		12月18日(木)		12月22日(月)		12月24日(水)		12月25日(木)	
課題	団体名	環境	NPO法人 森のおさるさん	福祉	NPO法人 ちゃんくす	子育て	虹の会	女性	みはらウイメンズネットワーク
		環境	環境会議 浮城	まちづくり	直美の部屋	子育て	三原市PTA連合会	女性	みはらLCS
		観光	アゼリアガイドみはら	まちづくり	NPO法人 みはらまちづくり兎っ兎	子育て	みらい子育てネット・みはら	女性	ひろしま女性大学福山校同窓会「たらの芽」
		観光	さぎしまを愛するボランティアガイド	まちづくり	三原青年会議所	子育て	ほんごう子ども図書館	女性	国際ソロプチミスト三原
		防災	三原市防災ネットワーク					女性	三原市女性会連合会
担い手不足		<ul style="list-style-type: none"> <li>人を(後継者)を育てる</li> <li>リーダーが足りない</li> <li>メンバーの高齢化</li> <li>活動計画を策定する人材が不足している</li> <li>活動の推進を中心的に担うキーマンがいない</li> <li>ノウハウ(IT, 事務処理能力)</li> <li>町内会は代表者が輪番で交代するため継続性がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動ける人材の育成</li> <li>スタッフの後継者不足</li> <li>組織運営が難しい(代表が1年任期で交代する)</li> <li>会員の減少</li> <li>ノウハウ、経験が少ないまま組織を離れてしまう</li> <li>サロンを活用した人材確保</li> <li>ボランティア養成講座に期待している、講座を利用して人材を求める</li> <li>人材不足を補うため主にボランティアにお願いしている(十分なお礼ができない)</li> <li>人を雇う力がない</li> <li>まちづくりのプレーヤーがいない</li> <li>自分の足で判断して動ける人材を育成したい</li> <li>人材の確保についてはボラセンに照会する(コーディネーターの力量)</li> <li>県大のボランティアを活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会員はギリギリの状況</li> <li>若い方の参加がない</li> <li>会員の高齢化が進んでいる</li> <li>会員の減少</li> <li>統合による団体の減少(予算も減)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い会員の不足</li> <li>会員の高齢化、減少</li> <li>役員のなり手がいない</li> <li>女性会のない町内会もある</li> <li>高齢の方(会員)の理解が必要</li> </ul>				
活動の支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>事業が大きい・資金不足で悩んでいる・広報が足りない</li> <li>モチベーション(動機、心得)</li> <li>市の主催する養成講座(学芸員養成のようなもの)</li> <li>助成金の情報</li> <li>企画力の不足、若年層の不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資金不足(人件費、謝金)</li> <li>対面でのコミュニケーション</li> <li>物を運ぶ力(会場設営)</li> <li>自主財源の確保</li> <li>賛助会員や一日会員の要請</li> <li>助成金を探す(情報がほしい)</li> <li>若者の場づくり</li> <li>どの団体も守備範囲が広がっている(メインの活動さえ難しい)</li> <li>支援の窓口の一本化が必要</li> <li>助成金申請の書類の手間が大変なので自主財源を確保する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営費用の捻出方法が課題</li> <li>社協から助成金を頂いているが基本的に活動資金が不足している</li> <li>団体の自己研修の場がない</li> <li>社協の人材養成講座の講師を受け会員の増につなげる</li> <li>「つなごうねつ」は偏らない掲載に心がけてほしい(市から利用者へ指導(フォロー)してほしい)</li> <li>「つなごうねつ」インターフェイスの改善点が多くある</li> <li>現状の社会ニーズに追いついていないHPIは誰も見なくなる(リニューアルも含め)</li> <li>必要ときに必要な情報が手に入るようなHPIにすることが必要</li> <li>補助の情報も自らが探す努力が必要(ボラセンも情報提供している)</li> <li>補助事業は事業期間も決まっている、頼りすぎるのもどうか</li> <li>自立(自主財源確保)できるのがよい</li> <li>ニーズに応える力をつけたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今の若い方は忙しい・活動団体のネットワークがしっかりしていれば若い人を支援できる</li> <li>団体の見直しの時期にきている</li> <li>市民の喜ぶ笑顔をみることが活動の基礎になっている</li> <li>活動資金については会費、バザーなどの自主財源が主な資金</li> <li>廃品回収が活動資金になる</li> <li>地域の課題を取上げた行政からの委託事業があればよい</li> <li>葬儀の祭壇を貸し出して資金を得ている</li> <li>敬老会への訪問活動</li> <li>講演会を開いているが、なるべく講師謝金のいらぬ方を呼んでいる</li> <li>年会費と上部団体からの資金提供がある</li> <li>協働の意識の問題ではないか</li> <li>地域のリーダーを育てる活動が必要</li> <li>行政の支援に頼るのではなく自分達の活動を実践していく</li> <li>セミナー、講演会を実施したときの集客に苦労している</li> </ul>				
団体間の連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>つながりが弱い</li> <li>役割分担が不明確</li> <li>全体の問題として取り扱う範囲が広い</li> <li>ネットワークを組んで連携している(人脈)</li> <li>ネットワークに行政を取込んでいく</li> <li>防災会と住民組織と連携を組んでいる</li> <li>行政の担当課との連携が必要</li> <li>観光協会との連携がうまくいっていない</li> <li>NPOの認識が薄い(行政、企業などに比べて)</li> <li>防災は顔の見える付き合いができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報共有が難しい(許可申請など)</li> <li>飲食や、夜間に行う行事などは連携(情報発信)が課題</li> <li>物販などをする場合、行政(他の市町)との連携が必要(しまの輪関係で感じた)</li> <li>SNS、フェイスブックを利用する</li> <li>全国ネットに登録(みなとオアシス(全国組織))して情報発信</li> <li>なにかあったときに連携できる体制(防災支援など)として町内会と連携</li> <li>組織単体ではできないことも、全国ネットや他の分野に関わることで情報発信、連携できる。</li> <li>広域なネットワーク・ポスター(情報発信)を利用する</li> <li>市の広報紙による発信が重要(皆見ている)</li> <li>同じような活動をしている団体と連携</li> <li>住民と地域間の連携も必要と感じている</li> <li>拠点が固定化していると広がりが少ない</li> <li>他団体との交流がしたい、テーマごとに集まる場がほしい</li> <li>町ゼミのようなもの(食事でもしながら)がほしい</li> <li>三原市防災ネットワークに加入して連携する</li> <li>住民自治組織と市民活動団体を同じ土俵で語るの難しい</li> <li>中間にあるのがサロンではないか</li> <li>防災などの連携の目的がはっきりしていれば連携が進む</li> <li>連携の話だけで声をかけると役割をもってこられたと思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手話の団体と連携している</li> <li>他の団体と共有したい思いはあるが、なかなか難しい</li> <li>行政の支援(子育て支援課)を受けて活動している</li> <li>市の児童館と連携している</li> <li>連携することで色々な知恵を教えてもらえる</li> <li>連携をするための交流の場がほしい</li> <li>テーマを絞った形で交流の場がいいのではない(目的が明確でない)と続かない</li> <li>分野別でない連携も考えられる</li> <li>自分達がアクションを起こさないと連携も難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月に1回他団体も加わった例会を開いている</li> <li>チャリティーバザーの収益金で図書館へ本を寄贈している</li> <li>女性会は町内会など地縁組織との繋がりが強い(町内会あつての女性会と言われるほど)</li> <li>地域との密着を大事にしたい(女性会が担う部分)</li> <li>地域からも女性会が必要とされている</li> <li>ウイメンズネットワークのような連携団体があることは、スケールメリットとしてもよい</li> <li>協働というのは難しい(メリット、デメリットがよく分からない)</li> <li>各団体の特色ある知恵を拝借したい</li> <li>ネットワークを作ったことで各団体の活動状況や詳細を知ることができた</li> <li>セミナー、講演会では実績をつくってきた</li> <li>自分たちの独自事業が少なくなった</li> <li>これからネットワークとしてどういった働きかけをしたらいいの(協働の役割はどういったものか)</li> <li>敬老事業は継続してほしい</li> <li>地域を知る事業(まつりなど)を継続してほしい</li> <li>団体の情報提供をするのに町内会と連携している</li> <li>バザーを開催する場合、町内会の回覧を利用している</li> </ul>				
活動拠点施設の整備		<ul style="list-style-type: none"> <li>エリアが広い・指定管理者の事務所を利用している</li> <li>コミセン、公民館の利用が難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会場予約(一日借りる場合は1年前、時間で借りる場合は3ヶ月前から可能)→半年前がいい</li> <li>市から借りている事務所の家賃が高い(拠点がないと活動できないので高くてもしかたない)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館を拠点として活動しているので特に問題ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議を行う場所に苦労していたが現在は中央公民館に登録して利用している</li> </ul>				

団体名 課題	12月18日(木)		12月22日(月)		12月24日(水)		12月25日(木)	
	環境	NPO法人 森のおさるさん	福祉	NPO法人 ちゃんくす	子育て	虹の会	女性	みはらウイメンズネットワーク
環境	環境会議 浮城	まちづくり	直美の部屋	子育て	三原市PTA連合会	女性	みはらLCS	
観光	アゼリアガイドみはら	まちづくり	NPO法人 みはらまちづくり兔っ兎	子育て	みらい子育てネット・みはら	女性	ひろしま女性大学福山校同窓会「たらの芽」	
観光	さぎしまを愛するボランティアガイド	まちづくり	三原青年会議所	子育て	ほんごう子ども図書館	女性	国際ソロプチミスト三原	
防災	三原市防災ネットワーク					女性	三原市女性会連合会	
市の推進体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務手続きの簡素化</li> <li>市からの助成金の情報が少ない</li> <li>市の分野ごとに対応するためレスポンスが悪い</li> <li>10万人都市で美術館がない</li> <li>市民活動団体と担当課が話す場がない(場づくりが必要)</li> <li>市民活動団体間や行政が連携するための話し合いの場づくりが必要</li> <li>他の団体と連携するなかで、人材不足や、他に足りないものを補う</li> <li>アンケート結果などから自分達の活動をブラッシュアップしていく</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>他の活動が見えない・認申請支援→細分化されている(この部分で支援がほしい)</li> <li>中間支援組織の強化(まちづくり分野で広げるのであれば複数の正職員体制、予算の確保が必要)</li> <li>市民活動のコーディネーターはボラセン</li> <li>ここに行けば相談できるといった場所が必要(ボラセンも人が限られて忙しい状況が多い)</li> <li>大学生が市民活動団体へ参加できるような体制を構築(支援)してほしい</li> <li>ボランティアセンターが取りまとめて大学側に呼びかける</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>自助努力だけでは事業の継続性が難しい(他の団体とのコーディネートをしてほしい)</li> <li>行政の中にコーディネートをする部署がほしい</li> <li>市の支援を受けて事業実施したが、支援後の継続性が困難</li> <li>色々な部署が集まった場での交流・情報共有の場があればよい(他の活動団体へ情報提供をしたい)</li> <li>コーディネート部門を強化することが必要</li> <li>今までの行政組織の中でコーディネートは担ってなかった。</li> <li>コーディネート機能が行政の中にいるのか、外部で必要なのかは現時点では分からない</li> <li>コーディネートする人は待ちではなく動く人</li> <li>企画の段階から話ができるようなコーディネートがほしい</li> <li>「まちづくりミーティング」のような意見交換の場を支援してほしい</li> <li>テーマ別に意見交換を行い、実情や苦労話を語り合う→成果を共有→意見交換の継続といった場がほしい</li> <li>市への補助申請書類の作成が煩雑</li> <li>提案型事業で行政と共にやって、有効であると言われるのに行政の事業として取入れてくれないのか</li> <li>行政の支援が終わるけど、協働部分の継続を求められる(必要なところに繋がっていない)</li> <li>事業の必要性の高い・低い、公共性の高い・低いから、必要性があって公共性があるものは行政が行う</li> <li>そういった整理を行政がしていないのではないか</li> <li>市の支援の基準を明確にすべきではないか</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>市の人権推進課(旧青少年女性課)と連携</li> <li>市の委託で講演会、セミナーを開催している</li> <li>市民活動団体やNPO団体の増により市と女性会との連携が薄くなった</li> <li>市からの要請が都合のいい時だけのように感じる</li> <li>見直しは行政とタイアップをして活動を進める</li> <li>企業とタイアップして活動を進める</li> <li>男女共同参画事業の推進で支援を受けている</li> <li>地域のまつりから行政が手を引いている(やっさまつりは実施しているが)</li> <li>市の人権推進課が窓口だが、女性団体からしたら連携強化のサポート的な立場としての体制はない</li> <li>行政の職員が外向くところ、なにをすべきかが分かっていないところがある</li> <li>行政が大きな方向性を打ち出して、そこから下で住民が動けば動きやすい</li> <li>何もなしに「協働する事業があったらどうぞ」と言われても動きようがない</li> <li>三原をどんなまちにしたいのが見えない</li> <li>三原市民が三原を愛するためにはどうしたらいいかを考える</li> <li>町内会組織をどうにかしてほしい</li> <li>回覧板も回らないような町内会がある</li> <li>町内会員が減少しているが町内に住むという責任もある</li> <li>三原に住んでいる人が三原のことをもっと知ってもらいたい(歴史、文化)</li> <li>子ども達に三原のことを教える、培ってほしい</li> <li>三原を好きになることが必要</li> <li>事業を案内するのに町内会へ回覧する場合にハードルが高い</li> <li>情報提供に「つなごうねっと」を利用している</li> <li>自身でHPを作成するのは難しい</li> <li>協働事業について目標が打ち出せてない、コンセプトが示されていない</li> <li>人的なつながり(他の団体、行政な)を大切にしている</li> <li>今までメンバーが蓄積してきたものを活かしている</li> <li>会員以外の研修が必要ではないか(ボランティア意識を育ててほしい)</li> <li>ボランティア意識が向上するような研修をしてほしい</li> <li>男女共同参画の考えが浸透していない</li> <li>生涯学習が始まってダメになった</li> </ul> <p>(行政から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>例えば、「こういった部分を協働でやりたい、そこを協力してほしい」といったやり方が市から示すことができれば、それぞれの団体の持ち味がだせる。その部分を明確にせず「観光で協働事業ないですか」といったやりかただと、行政と何も繋がらない。1年、又は3年間補助事業やって終わりということになる。これが提案型協働事業の課題の一つではないか。今回の参加団体は人材育成がうまくいっている団体ではないか。知識や考え方をレベルアップするための研修を独自で行っている。</li> </ul>	